

平成21年（2009年）の災害記録

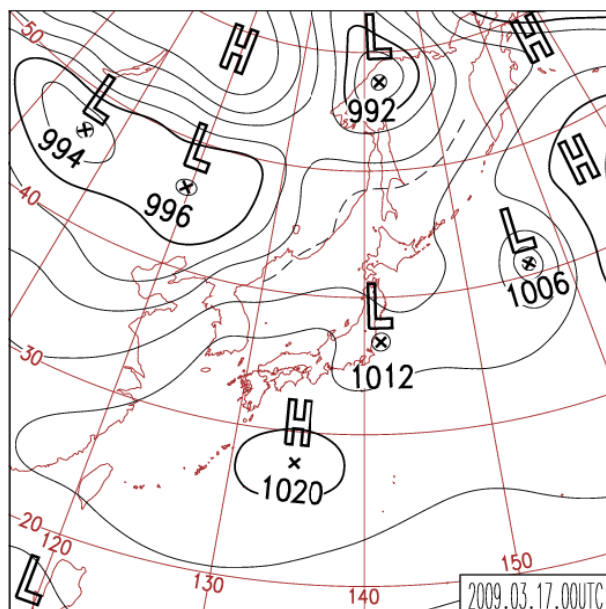
- [・ 3月17日の乾燥による乾燥害（高気圧）](#)
- [・ 4月2日の乾燥による乾燥害（高気圧）](#)
- [・ 4月12日の乾燥による乾燥害（高気圧）](#)
- [・ 6月28日～7月1日の大雨・強雨による
強雨害・浸水害・土石流害・山がけ崩れ害（梅雨前線）](#)
- [・ 7月20日～26日の大雨・強雨による強雨害・浸水害・山がけ崩れ害（梅雨前線）](#)
- [・ 8月10日の大雨・強風・波浪による山がけ崩れ害・強雨害・沿岸波浪害（台風第9号）](#)
- [・ 8月22日の高温による酷暑害](#)
- [・ 9月6日の強風による強風害（高気圧）](#)

※目次に戻る場合は標題をクリックしてください。

1143 平成 21 年(2009 年)3 月 17 日の乾燥による乾燥害(高気圧)

[気象概況]3 月 17 日九州地方は、四国沖にある高気圧に覆われて晴れていた。

大分県内に 3 月 14 日 10 時 50 分から乾燥注意報を継続中であった。



地上天気図 3 月 17 日 09 時

極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日平均湿度	56%	17日	大分
実効湿度	60%	17日	大分
日最小湿度	24%	17日 12h31m	大分
日最大風速・風向	4.6m/s 北西	17日 16h19m	大分
	5.3m/s 南南西	17日 13h02m	湯布院(a)
日最大瞬間風速・風向	7.0m/s 北北西	17日 16h50m	大分
	9.1m/s 南西	17日 13h00m	湯布院(a)

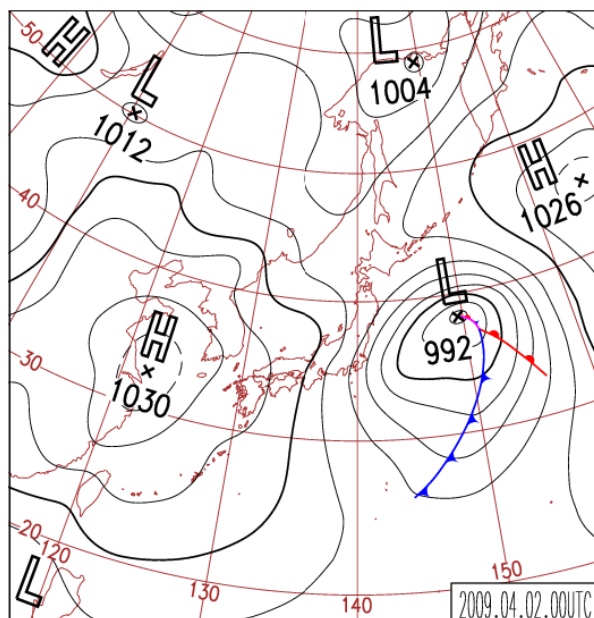
[被害概況]由布市湯布院町塚原の別荘地の南側斜面で、塚原財産管理委員会の約 70 名が 09 時 30 分より野焼きを行ったが延焼し、野焼きに参加した 4 名が死亡(男性 3 名、女性 1 名)、3 名が負傷した。

災害発生日時 3 月 17 日 13 時頃

1144 平成 21 年(2009 年)4 月 2 日の乾燥による乾燥害(高気圧)

[気象概況]4 月 2 日九州地方は中国大陸から張り出す高気圧に覆われて晴れていた。

大分県内に 3 月 24 日 06 時 30 分から乾燥注意報を継続中であった。



地上天気図 4 月 2 日 09 時

極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日平均湿度	67%	2日	大分
実効湿度	53%	2日	大分
日最小湿度	24%	2日 12h34m	大分
日最大風速・風向	6.0m/s 北北西	2日 12h26m	大分
	7.1m/s 北	2日 10h55m	蒲江(a)
	4.3m/s 北東	2日 14h41m	宇目(a)
日最大瞬間風速・風向	11.4m/s 北北西	2日 12h47m	大分
	13.9m/s 北	2日 12h07m	蒲江(a)
	9.6m/s 東北東	2日 13h50m	宇目(a)

[被害概況]佐伯市宇目木浦内の山中で火災が発生し、杉の植林およそ 8haを焼失した。

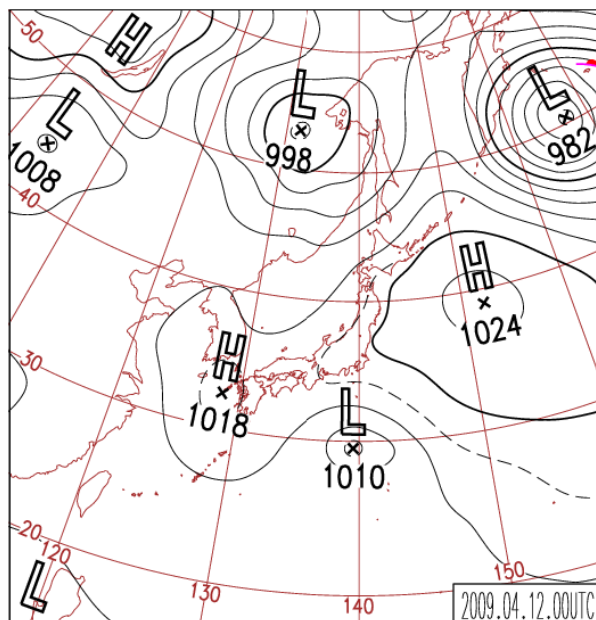
負傷者なし。

災害発生日時 4 月 2 日 10 時頃

1145 平成 21 年(2009 年)4 月 12 日の乾燥による乾燥害(高気圧)

[気象概況]4 月 12 日九州地方は、東シナ海に中心を持つ高気圧に覆われ晴れていた。

大分県内に 4 月 5 日 10 時 45 分から乾燥注意報を継続中で、11 日の実効湿度は 58%であった。



地上天気図 4 月 12 日 09 時

観測項目	大分地方気象台		日田特別地域気象観測所	
	観測値	起時	観測値	起時
日平均湿度	67%	12日	56%	12日
日最小湿度	51%	12日 10h52m	24%	12日 15h07m
日最大風速・風向	5.3m/s 北北西	12日 12h45m	6.4m/s 西北西	12日 16h04m
日最大瞬間風速・風向	8.6m/s 北北西	12日 12h41m	10.2m/s 西北西	12日 15h59m

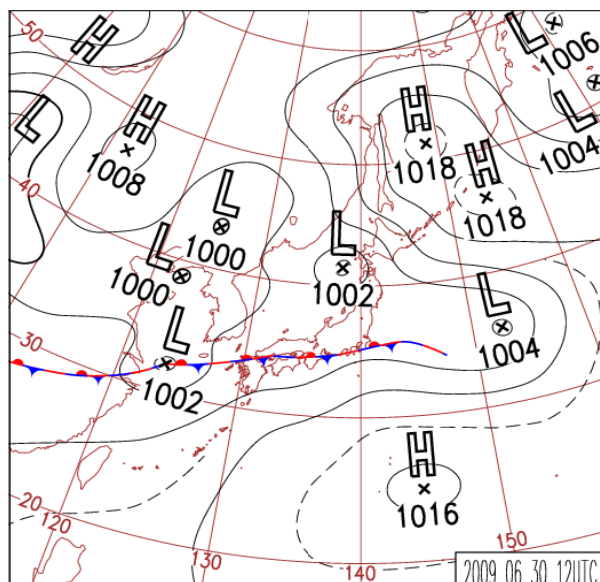
[被害概況]中津市山国町小屋川の山中で火災が発生し、およそ 10haを焼失した。

負傷者なし。

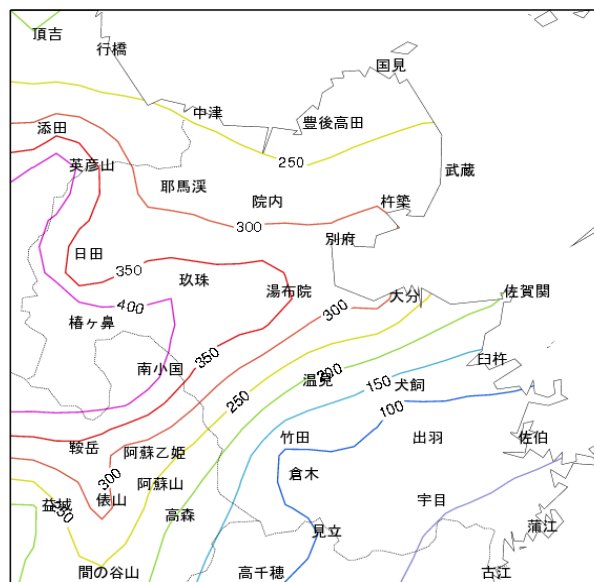
災害発生時刻 4 月 12 日 10 時 30 分頃

1146 平成21年(2009年)6月28日～7月1日の大雨・強雨による強雨害・浸水害・ 土石流害・山がけ崩れ害(梅雨前線)

[気象概況]6月28日から30日にかけ、梅雨前線が九州北部に停滞し、大分県では北部、西部を中心に断続的に大雨が降った。7月1日21時には梅雨前線は九州の南海上へ南下した。



地上天気図 6月30日21時



降水量分布図 6月28日～7月1日

6月28日～7月1日日別降水量(単位:mm)							
観測地点	28日	29日	30日	1日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	14.0	53.5	71.5	58.0	197.0	30.5	1日 10h24m
中津	17.5	46.0	112.0	73.5	249.0	33.5	1日 09h51m
豊後高田	14.0	59.0	100.5	46.0	219.5	20.5	1日 10h41m
耶馬溪	15.5	79.0	117.5	69.5	281.5	34.0	30日 05h26m
院内	18.0	88.5	115.0	47.5	269.0	29.5	29日 23h25m
杵築	20.0	103.0	150.0	35.0	308.0	31.0	30日 02h20m
武蔵	11.5	101.5	142.0	35.5	290.5	21.0	30日 06h49m
日田	11.5	98.0	81.0	77.5	268.0	41.0	1日 10h25m
別府	20.5	123.5	116.0	52.0	312.0	34.0	29日 17h30m
玖珠	8.0	182.0	139.0	70.0	399.0	56.0	30日 01h47m
湯布院	26.0	151.0	160.0	61.0	398.0	44.5	29日 18h00m
大分	28.5	128.0	121.0	42.5	320.0	32.0	29日 19h44m
佐賀関	6.5	85.0	74.5	38.5	204.5	26.5	1日 15h08m
椿ヶ鼻	18.0	266.0	162.0	87.0	533.0	54.5	30日 01h36m
臼杵	11.0	39.0	43.0	30.0	123.0	21.5	1日 15h20m
温見	28.0	56.0	77.0	22.5	183.5	30.5	29日 20h10m
犬飼	11.0	35.0	28.5	25.0	99.5	14.5	1日 15h07m
竹田	13.5	22.5	26.5	27.0	89.5	19.0	1日 14h51m
出羽	3.0	17.5	29.0	30.5	80.0	20.5	1日 15h30m
佐伯	2.5	4.5	20.0	34.0	61.0	15.0	1日 17h43m
倉木	7.0	15.0	44.0	24.0	90.0	20.0	30日 09h50m
宇目	0.0	2.0	33.0	21.5	56.5	10.5	30日 04h31m
蒲江	0.5	0.5	28.0	7.0	36.0	9.0	30日 07h42m

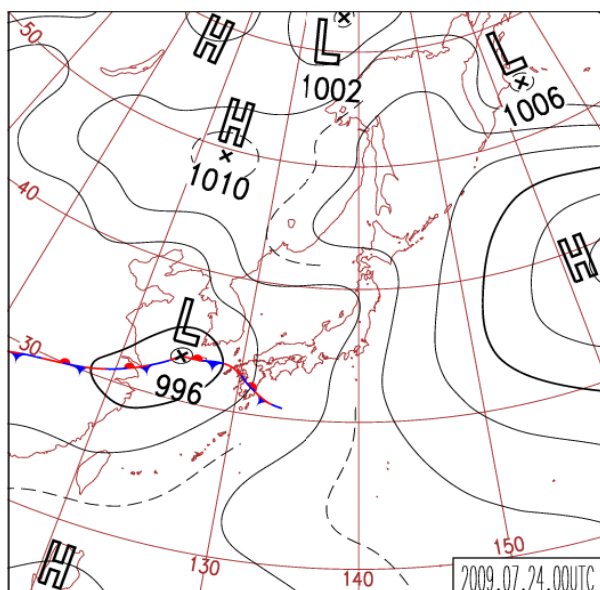
[被害概況]この大雨による被害は、住家一部損壊 2 棟、床下浸水 2 棟、非住家被害 2 棟、道路の冠水、法面崩壊及び路肩崩壊など 31 箇所発生。住家に達しないがけ崩れ 3 箇所発生。

被 害 状 況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	31 か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	3 か所
	半壊・焼・一部破損	2 棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	2 棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	5.3 ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		ha		か所
				万円
水産業被害		隻		か所
				万円
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上			
	海上			
	航空			
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県防災危機管理課、砂防課		

1147 平成21年(2009年)7月20日～26日の大雨・強雨による強雨害・浸水害・

山がけ崩れ害(梅雨前線)

[気象概況]7月20日から21日にかけて、梅雨前線が対馬海峡に停滞し、大分県へ断続的に強い雨雲が流入した。梅雨前線は22日09時に九州南部へ南下し、23日09時には奄美近海へ南下した。このため、雨は小康状態となった。24日09時、梅雨前線上に発生した低気圧がチェジュ島付近に進み、低気圧からのびる前線が九州南部へ北上した。24日15時から、梅雨前線は対馬から山口県へ北上した。これにより再び強い雨雲が大分県へ流入した。



地上天気図 7月24日09時



降水量分布図 7月20日～26日

7月20日～26日の日別降水量(単位:mm)										
観測地点	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	日別降水量 合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	31.5	87.5	0.0	0.0	27.0	97.5	47.5	291.0	33.0	21日 13h44m
中津	7.5	28.0	0.5	0.0	52.5	84.5	56.5	229.5	31.0	24日 22h19m
豊後高田	13.5	44.0	1.0	0.0	25.0	92.0	59.5	235.0	22.0	26日 15h10m
耶馬溪	24.0	48.5	8.0	0.0	48.5	79.5	59.5	268.0	21.5	25日 06h45m
院内	19.0	31.0	9.0	0.0	27.0	107.5	48.5	242.0	22.0	25日 04h33m
杵築	48.5	18.0	30.5	0.0	4.0	60.5	19.0	180.5	28.5	22日 03h16m
武蔵	21.0	8.0	6.5	0.0	1.5	57.0	14.5	108.5	19.0	25日 02h27m
日田	36.0	70.5	14.0	0.0	54.0	140.5	41.0	356.0	54.0	21日 12h31m
別府	35.5	11.5	22.5	0.0	1.0	58.5	18.0	147.0	21.0	25日 05h00m
玖珠	111.0	58.0	31.5	0.0	33.5	172.5	34.0	440.5	49.0	25日 01h26m
湯布院	82.0	59.5	23.0	0.0	3.5	84.0	23.5	275.5	44.0	20日 10h35m
大分	41.5	22.5	29.0	0.0	1.5	39.5	20.5	154.5	21.5	22日 03h36m
佐賀関	23.5	12.5	38.0	0.0	0.5	29.0	12.0	115.5	30.0	22日 03h54m
橋ヶ鼻	187.5	112.5	62.0	0.0	86.0	153.5	97.5	699.0	63.0	20日 12h04m
臼杵	4.5	39.5	75.5	0.0	0.5	39.5	10.0	169.5	25.0	22日 04h17m
温見	59.5	115.5	92.0	0.0	0.5	45.0	25.0	337.5	50.0	20日 13h50m
大飼	7.5	65.0	110.0	0.0	1.0	33.0	19.5	236.0	32.0	22日 07h22m
竹田	6.5	96.5	85.0	0.5	2.0	57.0	22.0	269.5	37.5	22日 06h30m
出羽	6.5	51.0	94.0	0.0	0.0	54.5	11.0	217.0	22.5	22日 07h40m
佐伯	0.0	19.5	92.5	0.0	0.0	22.0	3.0	137.0	35.5	22日 08h25m
倉木	14.5	72.0	91.5	0.0	0.0	52.5	23.0	253.5	33.0	22日 05h10m
宇目	0.5	26.5	56.5	0.0	0.0	25.5	9.0	118.0	16.5	22日 04h32m
蒲江	0.0	6.5	51.5	0.0	0.0	23.5	5.0	86.5	18.5	22日 06h07m

[被害概況]梅雨前線による大雨のため、7月20日から26日にわたり、県内全域で住家の一部損壊をはじめ、道路被害、農業施設被害などが発生した。人的被害はなかった。

被 害 状 況			
死者・行方不明者		人	道路損壊 15 か所
負傷者		人	橋の流失 か所
被災者		人	鉄軌道被害 か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り 5 か所
	半壊・焼・一部破損	1 棟	堤防決壊 か所
	床上浸水	1 棟	通信施設被害 回線
	床下浸水	1 棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	6.2 ha	山林焼失 ha
	冠水	ha	船舶被害 隻
農業被害		ha	1 か所
水産業被害		隻	万円
林業被害		m ³	ha
交通	陸上		万円
	海上		
	航空		
電力・水道被害			
被害資料の入手先		大分県防災危機管理課	

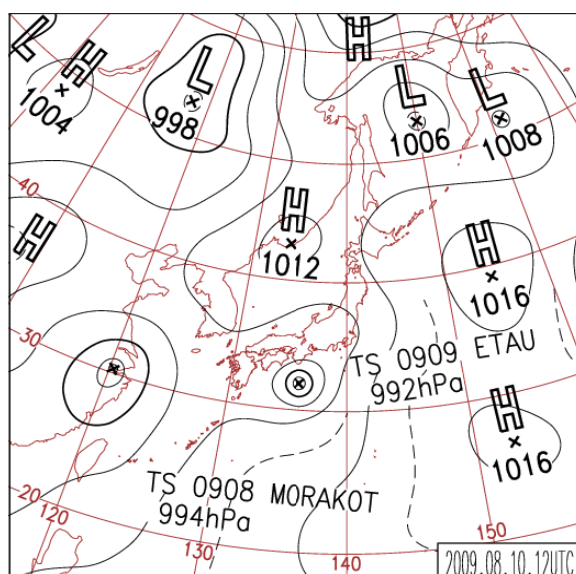
1148 平成 21 年(2009 年)8 月 10 日の大雨・強雨・波浪による山がけ崩れ害・強雨害・

沿岸波浪害(台風第 9 号)

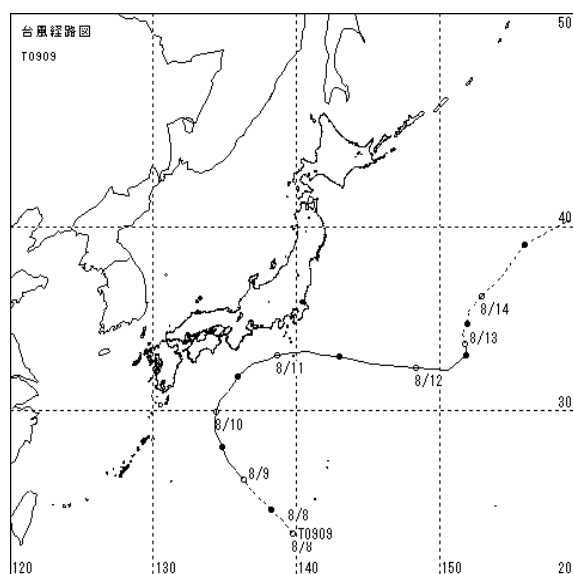
[気象概況]台風第 9 号は 10 日 15 時には潮岬の南約 270km の海上にあって、北北東へ進んでいた。大分県では台風からの湿った空気の流れ込みと、日射の影響で大気の状態が非常に不安定となっており、積乱雲が発生し発達した。これにより竹田で 18 時から 19 時の 1 時間に 69.5mm、18 時 53 分までの最大 1 時間降水量は 78.0mm の非常に激しい雨が降った。

10 日 09 時の沿岸波浪実況図では、豊後水道の K 地点(佐伯市沖)では南東の波で周期 12 秒、波高 2m と解析している。風は北北東約 8m/s である。

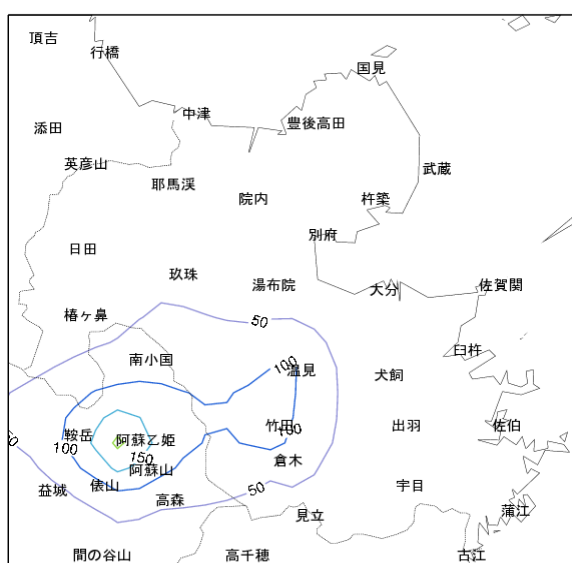
10 日 21 時の沿岸波浪実況図では、豊後水道の K 地点(佐伯市沖)では南東の波で周期 11 秒、波高 1.5m と解析している。風は北北西 7m/s である。台風が遠ざかるにつれ、風、波ともに収まった。



地上天気図 8 月 10 日 21 時



台風第 9 号経路図 8 月 9 日～13 日



降水量分布図 8 月 10 日

極値表			
観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最大日降水量	126.5mm	10日	温見(a)
	154.5mm		竹田(a)
日最大1時間降水量	44.0mm	10日 17h40m	温見(a)
	78.0mm	10日 18h53m	竹田(a)
日最大10分間降水量	22.0mm	10日 18h11m	竹田(a)
日最大風速・風向	5.0m/s 北北東	10日 15h13m	佐伯(a)
	4.8m/s 北	10日 07h37m	蒲江(a)
日最大瞬間風速・風向	7.6m/s 北北東	10日 15h09m	佐伯(a)
	8.1m/s 北北東	10日 06h51m	蒲江(a)

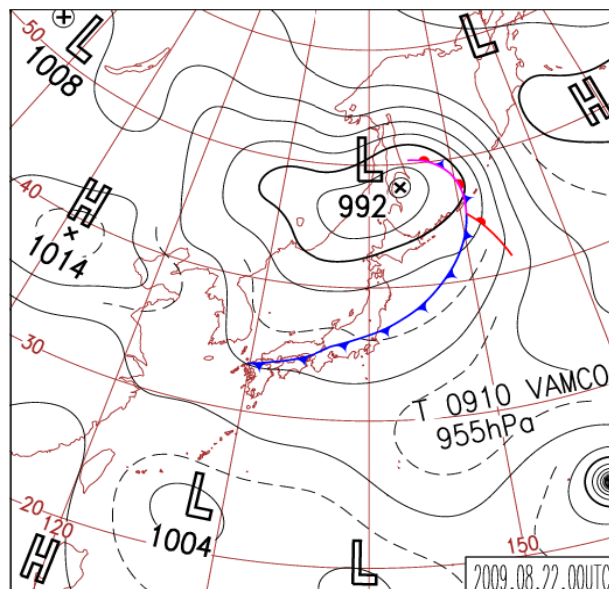
[被害概況] 竹田市片ヶ瀬の国道 502 号線滑瀬橋付近で崩れ落ちてきた土砂により 8 名が軽傷を負った。また、車 8 台が被災した。3 台は大野川に流され、5 台は土砂に埋まった。竹田市で住家被害、崩土により半壊や土砂崩落により一部損壊があわせて 3 棟、床下浸水が 18 棟あった。豊後大野市で床上浸水が 3 棟あった。道路被害があわせて 64 箇所発生した。

佐伯市沖合いの岩場で釣りをしていた男性 2 名が、18 時 30 分頃、足を波にさらわれ海中に転落した。1 名は漁船に救助されたがもう 1 名は現在も行方不明。救助された方の話では、潮をかぶるほどの波ではなかったとのことである。

被 害 状 況				
死者・行方不明者		1 人	道路損壊	64 か所
負傷者		8 人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	3 か所
	半壊・焼・一部破損	3 棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	3 棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	18 棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	75.6 ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		ha		か所
		134 万円		
水産業被害		隻		か所
		万円		
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上	その他 8 件		
	海上			
	航空			
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県、大分海上保安部、佐伯海上保安署		

1149 平成 21 年(2009 年)8 月 22 日の高温による酷暑害

[気象概況]8 月 22 日の日中にかけて寒冷前線が九州を南下した。大分県では、寒冷前線が南下する前には南風により高温となった。また、その後は大分県では曇りで雨が降った所もあった。



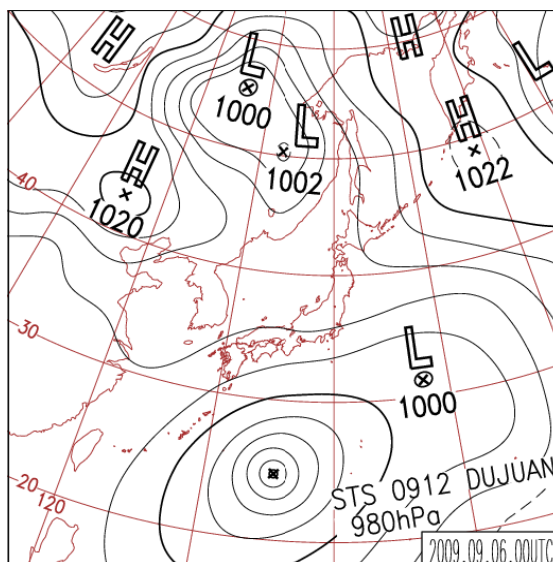
地上天気図 8 月 22 日 09 時

観測項目	観測値	起時	観測地点
日最高気温(平年差)	28.5℃ (-3.8℃)	22日 11h55m	日田
	31.0℃ (+1.4℃)	22日 11h33m	竹田(a)
日平均気温(平年差)	26.6℃ (+0.2℃)	22日	日田
	27.2℃ (+2.3℃)		竹田(a)

[被害概況]8 月 22 日 12 時頃、竹田市の高校で高校 2 年生の剣道部員が練習中に熱射病で倒れ死亡した。

1150 平成 21 年(2009 年)9 月 6 日の強風による強風害(高気圧)

[気象概況]9 月 6 日の大分県は、日本海に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れていたが、強い日射の影響により県内の所々で雲が発生していた。災害発生頃の現場は快晴であったとのことである。



地上天気図 9 月 6 日 09 時

極値表(9月6日)			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日最大 風速・風向	4.4m/s 西南西	19h10m	日田
	4.6m/s 北	17h35m	玖珠(a)
日最大瞬間 風速・風向	6.9m/s 北西	13h14m	日田
	8.1m/s 北	17h21m	玖珠(a)

[被害概況]9 月 6 日 13 時 10 分頃に日田市内の桂林小学校で、地区の運動会の最中にじん旋風(現場に居合わせた方によると小さな竜巻)が発生した。翌日(9 月 7 日)被害に遭われた、上城内新町自治会会長と地区体育協会局長に確認したところ、じん旋風の継続時間は 5 秒から 10 秒程度。運動場西側で土煙があがり渦を巻きながらテントに達した。砂ぼこりで目が開けられないほどであった。突風でゴザが跳ね上がり人の体に覆いかぶさった。また、テント 5 張が横倒しとなり、テント 1 張りが飛ばされ男性 2 名、女性 1 名が負傷した。運動場の外側は田んぼで周囲の建物被害はなく、草木が押し倒された形跡もないとのこと。調査の結果、藤田スケールは F0 未満と推定した。